

けんちく茨城

ARCHITECTURE IBARAKI 2018.6 VOL.97



建築作品紹介：友部地区地域交流センター（Tomoa）



一般社団法人
茨城県建築士会
<http://i-shikai.com>

けんちく茨城

2018.6.5 第97号

1	平成30年度通常総会
2	ようこそフレッシュマン 6名
4	先輩会員を訪ねて 2名
6	建築作品紹介:友部地区地域交流センター
8	木造塾
12	HUG体験ワークショップ
16	県西協議会創立50周年記念式典開催
18	石岡支部 第13回市内小学校絵画展
19	筑波支部 木耐震・空き家対策委員会
20	筑西支部 筑西支部会員の為の勉強会
21	ひたちなか支部 恒例のボウリング大会
22	県央支部 古民家に学ぶ木の家づくりとまちづくり
24	県央支部 施設見学会
25	土浦支部 板塀と木製ベンチ
26	土浦支部 プラスアップセミナー
28	研修委員会 建築士会技術講習会
29	会員委員会 第21回会員美術展
30	青年委員会 U-45建築界異業種交流会
31	女性委員会 わくわくセミナー
32	ラブアークセミナー
34	糸魚川市駅北大火視察

題字 大井川 和彦 茨城県知事
表紙 友部地区地域交流センター
設計監理 株式会社 横須賀満夫建築設計事務所
所在地 茨城県笠間市
主要用途 集会場
建築主 笠間市

発行 平成30年6月5日
次回 平成30年10月5日予定
部数 2,300部
発行 一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸
〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F
TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0300
E-mail kyy05413@nifty.com
印刷 株式会社 高野高速印刷

平成30・31年度新役員一覧

顧問	田所嘉徳	衆議院議員	海老沢和雄	県庁建築指導課
	高橋靖	水戸市長	諸川博幸	JR水戸設備部施設課
	白田信夫	茨城県議会議員	内芝良吉	(株)鹿島テクノス
	伊沢勝徳	茨城県議会議員	石井誠之	イシイ工業(株)
	島田幸三	茨城県議会議員	久米恒雄	久米建築設計事務所
相談役	滑川浩一	(株)安心確認検査機構	森均	森建築設計事務所
	関根愼一	(株)関根工務店	小林澄夫	繁建築設計事務所
	松山恒男	多賀土木(株)	柴博美	関彰エンジニアリング(株)
会長	柴和伸	(株)柴建築設計事務所	広瀬元二	(株)広瀬設計
副会長	武村実	武村建築設計事務所	小貫廣利	小貫建設(株)
	市毛純一	(株)市毛建築設計事務所	児玉欽司	(株)環境工作室
専務理事	加藤繁治	(一社)茨城県建築士会	稲葉光夫	稲葉建築設計事務所
常務理事	高槻一雄	(有)高槻建築設計事務所	豊崎晋也	IBA建築事務所
	岡田一夫	岡田建築設計事務所	鈴木啓之	(有)アップル建築設計事務所
	久保田吉文	(有)クボタ建築設計事務所	成田孝成	成田建築設計事務所
	潮田充	(株)潮田建設	早川敏史	(株)早川建築事務所
	川又晴彦	川又晴彦建築設計事務所	浜中本子	AI設計
理事	篠原武司	(株)安心確認検査機構	大内賢一	(株)第一設計
	木村千明	木村工務店	小室晶	(有)汎連合設計
	棚谷哲夫	棚谷建築設計事務所	水口二良	水口・野村法律事務所
	梅原郁夫	梅原材木店	江原秀明	(一財)茨城県建築センター

平成30年度事業計画

基本方針

二級建築士・木造建築士の登録・閲覧事務を担う「県指定登録機関」として、一級建築士の登録・閲覧事務と併せ適切に遂行するとともに、建築士制度の下、建築士の資質の維持・向上並びに業務改善を推進する。

また、建築行政、関係団体との協力体制の維持並びに地域貢献活動を実施し、公益法人として地域社会の健全な発展に一層寄与することを基本とする。

事業内容

〈建築士の資質の維持・向上に関する事業〉

1. 建築士法第22条第2項による「定期講習」の実施
2. 知事指定講習「建築士会技術講習会」の実施
3. 監理技術者講習の実施
4. 継続能力開発(CPD)制度及び専攻建築士制度の推進
5. いばらき木造塾の実施
6. 工事管理者セミナーの実施

〈建築士制度等に関する事業〉

1. 一級建築士登録事務及び二級・木造建築士登録事務の実施
2. 建築士試験業務の受託

〈会員の指導・連絡等に関する事業〉

1. 会員増強活動の実施
2. 会員相互並びに支部との連携強化
3. 会報誌「けんちく茨城」の発刊
4. ホームページ等の活用による情報発信の推進

〈地域貢献活動に関する事業〉

1. 市町村の空き家対策事業への支援
2. 既存住宅状況調査技術者の業務拡大への支援

3. まちづくり事業及び地域貢献活動の実施

4. 緑化推進事業(苗木配布)の推進
〈建築行政との連携に関する事業〉

1. 建築パトロールの実施
2. 応急危険度判定士の更新及び登録事務の実施
3. 災害発生時の支援体制の充実
4. 全国被災建築物応急危険度判定協議会への協力
5. 茨城県安全安心実施計画への協力
6. 木造住宅耐震診断士派遣事業の実施
7. 行政機関及び関係団体との協力体制の維持

〈業務支援に関する事業〉

1. 建築確認申請・建築許可・都市計画法関係諸書式の頒布
 2. 建築士受験関係図書及び建築関係書籍の販売
- 〈連合会等との連携に関する事業〉
1. 建築士会全国大会「埼玉大会」への参加促進
 2. 関東甲信越建築士会ブロック会青年協議会「栃木大会」への参加促進
 3. 全国女性建築士連絡協議会「高知大会」への参加促進
 4. 建築士賠償・工事賠償責任補償制度への加入促進

〈調査・研究に関する事業〉

1. 歴史的建造物調査の支援
 2. 建築士業務の適正運営の推進
 3. 新規事業の企画・立案
- 〈福利増進・その他の事業〉

1. 国家褒章・連合会表彰等の上申及び功労者表彰の実施
2. 慶弔見舞金の給付
3. 会員レクリエーションの実施
4. その他目的達成のために必要な事業の実施



平成30年度 通常総会開催される

平成30年5月25日(金)午後2時
茨城県立県民文化センター 小ホール
報告：総務・企画委員会

平成30年度通常総会（第67回）が5月25日（金）県民文化センター小ホールにおいて開催された。

当日は315名の出席と260名の委任状があり定足数に達していることが司会者から報告され、松山副会長による開会のことばで通常総会が始まった。まず、平成29年度に亡くなられた古河さしま支部岡安重勇氏他4名に対し黙祷が行われ、続いて柴会長が挨拶。

「29年度を振り返り、各支部長、本会役員、会員の協力、各委員長の尽力により、目標としてきた各事業については概ね遂行することが出来ました。また、財政面については会員の減少など収入減もありましたが、厳しいなりに概ね収支バランスとることが出来ました。建築業界は人口減少に伴う問題、公共建築の発注減少、景気停滞など厳しい状況は今後も続くと思われませんが、30年度も会員の皆さん、各団体、行政の皆さんの協力を頂きながら、会員の皆さんにとってプラスになるよう、与えられた業務をしっかりと遂行していきたい。」

功労者表彰では、長年にわたり士会発展のために尽力された久慈支部長山智子さん他11名に、会員増加優良表彰では、高萩支部他3支部へ、そして個人の部では横須賀孝氏他2名に表彰状と金一封が贈られた。

続いて来賓挨拶に移り、白田信夫県議会議員より祝辞をいただいた。

祝電披露の後、議事に入り、平成29年度事業報告と収支決算、会計監査報告、平成30年度事業計画（案）と収支予算（案）、理事の改選など5議案を審議。原案通り全会一致で可決され、武村副会長の閉会のことばにより閉会となった。総会終了後は県民文化センターグリルにおいて懇親会が開催された。

※平成30・31年度新役員、平成30年度事業計画については、差し込み頁に掲載しています。

・来賓の方々

茨城県知事	大井川和彦 様
衆議院議員 建築士会顧問	田所 嘉徳 様
水戸市長 建築士会顧問	高橋 靖 様
茨城県議会議員 建築士会顧問	白田 信夫 様
茨城県議会議員 建築士会顧問	伊沢 勝徳 様
茨城県土木部建築指導課長	海老沢和雄 様
茨城県土木部都市局住宅課長	足立 信幸 様
茨城県土木部営繕課長	小坪 達也 様
(一社)茨城県建築士事務所協会 会長	舟幡 健 様
(一社)茨城県設備設計事務所協会 副会長	那須 保 様
(一財)茨城県建築センター 理事長	江原 秀明 様
(一社)茨城県建築士会 相談役	滑川 浩一 様
(一社)茨城県建築士会 相談役	関根 愼一 様
茨城新聞社 水戸支社長	二方 善郎 様
日本工業経済新聞社 水戸支局長	沼田 好世 様
日本建設新聞社 水戸総局長	井上 哲郎 様

Welcome Freshman!!

- ①氏名、支部
- ②勤務先
- ③自己紹介
- ④入会の目的
- ⑤建築士会に期待する活動・参加したい活動
- ⑥建築士として将来の目標



深津 幸一 51歳
坂東支部

- ①深津 幸一 51歳 坂東支部
- ②百貨店、ブランド、専門店のディスプレイ、内装、PR施設、文化施設の内装・展示、企画、制作、施工 ディレクターやっています。
- ③新しい発見と出会いを求め、チャリで旅を続けていて、山にも登っています。ROCK系の音楽が好きでエレキギター3本とアンプ2台持ってんだけど、まともに完奏したことがないレベル。テレビのYoutubeで音楽動画観ながら晩酌が気に入っているオヤジです。
- ④行事やセミナーに参加してネットワークを拡げ、皆様から刺激を頂きたい。
- ⑤経験、知識が全然足りないと思っています。時間を作って多くのセミナー、講習会や見学会に参加したいです。
- ⑥今の職業柄、多くの空間デザイナーさんと知り合ってきました。そのネットワークを活かして、地元茨城の人たちのオリジナリティあふれる家造りのお手伝いをしたい!魅力的な店作りに寄り添いたい!人の集まる空間を造りたい。元気な街を造りたい!…将来の夢です。

- ①関 達彦 30歳 県央支部
- ②2018年2月に不動産と建築の会社を設立しました!
- ③こんにちは!関と申します。昨年の一級建築士合格を機に2月に結婚と独立を同時にしました!まだまだ未熟ですが、仕事に、土会の活動に、とにかく全力で頑張ります!宜しくお願いいたします。
- ④建築に携わっている方々と接することで学びと刺激をいただきましたので入会しました!
- ⑤セミナーや見学会、飲み会です!
- ⑥建築や不動産の力で、地域を活性化させること、そしてゆくゆくは日本を世界に誇れる国にすることが目標です。



関 達彦 30歳
県央支部



中澤 卓也 32歳
筑西支部

- ①中澤 卓也 32歳 筑西支部
- ②住宅会社 (アキュラホーム)
- ③2級建築士を取得し3年が経過し、今後いろいろな職場で活躍されている建築士の方々との交流を通して今後の仕事の幅を広げたいと思い入会しました。
- ④今年、茨城県建築士会筑西支部に入会することになりました、中澤卓也と申します。趣味はF1です。
- ⑤どういった活動をするのかまだ分かりませんが、できる限り様々な活動に参加したいと思っております。
- ⑥まずは1級建築士を取得すること。今の仕事を通して、お客様の期待に応えられるように建物の設計を丁寧に行いたいです。



近藤 あすか
日立支部

- ①近藤 あすか 日立支部
- ②日立市にある皆川美術建築設計事務所に勤務しています。
- ③昨年試験に合格し、建築士として新たなスタートを切りました。試験で勉強したことを活かせるよう現場での体験とともに日々勉強を積み重ねていきたいです。
- ④所長である父の紹介で入会致しました。送付される会報誌を楽しく読ませて頂いておりましたので、試験合格後、すぐ入会させて頂きました。
- ⑤講習会やセミナー、見学会などに参加し、知識を広めていきたいです。
- ⑥建築のわからないことや住まいの不安に思うことを気軽に相談できるような、普段の生活に寄り添った親しみやすい建築士を目指しています。女性ならではの視点を生かしてできることを探しながら、楽しんで建築に携わっていききたいです。

- ①坏 貴之 30歳 県庁支部
- ②茨城県土木部都市局住宅課
- ③この度入会させていただきました坏と申します。建築士会の多くの方々との交流や情報交換を通じて自分自身を成長させていきたいと考えております。よろしくお願いたします。
- ④様々な分野の先輩方との交流が図れると思入会しました。
- ⑤建築史にも興味があり、古い建築物の見学会などあれば参加させていただきたいです。
- ⑥幅広い知識を持つ建築士になりたいです。



坏 貴之 30歳
県庁支部



横山 渚
県庁支部

- ①横山 渚 県庁支部
- ②茨城県土木部都市局建築指導課
- ③以前より、建築士会で開催されるイベントが気になっておりましたため、遅ればせながら入会をさせていただきました横山と申します。どうぞ宜しくお願いします。
- ④建築士会で開催されるイベントに参加するためです。
- ⑤一般公開していない建築物の見学会や、ものづくりのワークショップ等に参加したいです。
- ⑥建築士会を通して、普段仕事で携わる域とはまた異なる建築の分野について、勉強をさせていただきたく思います。

空気調和・衛生設備・設計施工

〈水と空気のパイオニア〉



清和工業株式会社

代表取締役 小川 三郎

本 社 ■ 水戸市東野町140-4 TEL029-248-2413
 日立営業所 ■ 日立市東多賀町2-10-40 TEL0294-36-0481
 土浦営業所 ■ 土浦市中貫1911 TEL029-832-4780
<http://www.seiwakogyo-web.co.jp>

先輩会員 を訪ねて



建築士会活動を通じて、成長の糧にしよう

土井 金哉 氏 (北相馬支部)
昭和22年生まれ/昭和53年入会/会員歴40年

大学の建築学科卒業後昭和53年に一級建築士取得、設計事務所勤務、旧住宅公団での現場管理を経て、当時木材の販売をしていた実家である山王建材株式会社に事務所を開設し同時に建設業許可も取得し一般住宅から社寺建築まで手がけるようになる。平成28年支部長に就任。

—北相馬支部長としての抱負

毎年の年間活動の一環に活性化を促す活動を加えていきたいと思っております。

一般の方に建築士会の存在を知っていたくためのイベントや、行政との協力を頂いて相談会の開設、士会と協力できる業者の紹介等、多くの会員の方に参加していただき、又新規会員の入会を促す機会にもなればと思っております。

—後輩へメッセージ

建築士会の組織構成は設計から工事まで幅広いプロの集団です。多くの集まり会合に参加していただき、お互いを切磋琢磨し、日々変化していく状況に対応できるよう心がけていただければと思います。



建築士会の活動に積極的に参加し、沢山のひととの交流を深めよう

棚谷 哲夫 氏 (高萩支部)
昭和22年生まれ/昭和51年入会/会員歴42年

資格を取り士会に入会できることを喜びに感じたものです。当時は住宅ブーム、宅地が飛ぶように売れ年間180万戸の住宅が建つと記憶しております。支部会員も80人いたと思います。仕事に遊びに忙しい毎日でした。もちろん会の行事も盛んで、親睦旅行そして支部対抗ソフトボール大会にはA,Bチームの2チームが出場した程でした。又、県北ブロック協議会が発足し、他支部の皆様とも親しく交わる事が出来、多くの友人を得る事が出来、私には大きな財産です。

—高萩支部長としての抱負

豆澤先輩より支部長を引き継ぎ8年が過ぎてしまいました。現在の会員数を何とか維持して、新しい若い会員様に入会を進めようと役員一丸となり頑張っております。建築士の存在が今後益々大事になってくると思うので粘り強く、優しく有資格者の方に入会をお願いして、現在の会員数を減らさないで次の支部長にバトンタッチが出来ればと考えております。

—後輩へメッセージ

会に入っても名前だけの方が沢山いらっしゃいます。当支部だけでなく茨城県全部の支部の方と知り合えます。是非いろいろな事業に参加をして素晴らしい方々が沢山おります。人間関係を広めて頂きたいと思えます。



秀峰筑波義務教育学校

 **MITSUO YOKOSUKA**
ARCHITECTURAL CO., LTD.

(株)横須賀満夫建築設計事務所

事務所 / 茨城県水戸市南町 2-1-18 アーキビル 〒310-0021
TEL 029(225)4353 FAX 029(225)1794
東京支店 / 東京都杉並区梅里 1-3-12 テラスキョウ 101 号室
〒166-0011 TEL・FAX 03 (5378) 6617
つくば営業所 / 茨城県つくば市高見原 3-1-23 アメニティー高見原 202
〒300-1254 TEL 029(896)3978 FAX 029(896)3968
URL <http://www.design-yokosuka.co.jp>
E-mail yokosuka-mitsuo@bea.hi-ho.ne.jp



しあわせ賃貸ネットワーク

ユーニーマンション



藤崎建設工業株式会社

一級建築士事務所

本社 茨城県行方市新宮 7 4 5
TEL 0299 - 73 - 2123
FAX 0299 - 73 - 2144
E-mail info@fujiken1.com
URL <http://www.fujiken1.com>
神栖営業所 茨城県神栖市大野原 1-1-6
TEL 0299 - 92 - 5577



建築作品介绍

友部地区 地域交流センター

まちを育てる人づくり、人を育てる施設づくり

笠間市では、地域の活性化、駅利用者及び市民の利便性、駅空間のイメージを高め、賑わいのある持続可能なまちを構築することを目指しており、今回の建物を計画するに至りました。

本計画では、地域の方々が計画から運営まで深く関わるためにワークショップを行い、あらゆる人が気軽に集まり、交流の場へ成長し、まちの賑わいを育むきっかけを作りました。

「まちを育てる人づくり、人を育てる施設づくり」をコンセプトに、駅前広場と駅舎の一体感を持たせながら、お祭りなどの催しに対応できる「ハレ」の舞台としてのしつらえと、まちに暮らす人の生活を支える「日常性」を兼ね備えた施設としました。

にぎわいの繋がり

施設中央に位置するマルチホールには可動間仕切りを採用し、形骸化されたものではなく、実用性のあるホールとしました。間仕切りを閉じた状態で100名程収納可能で、利用者側が工夫し変形させることで

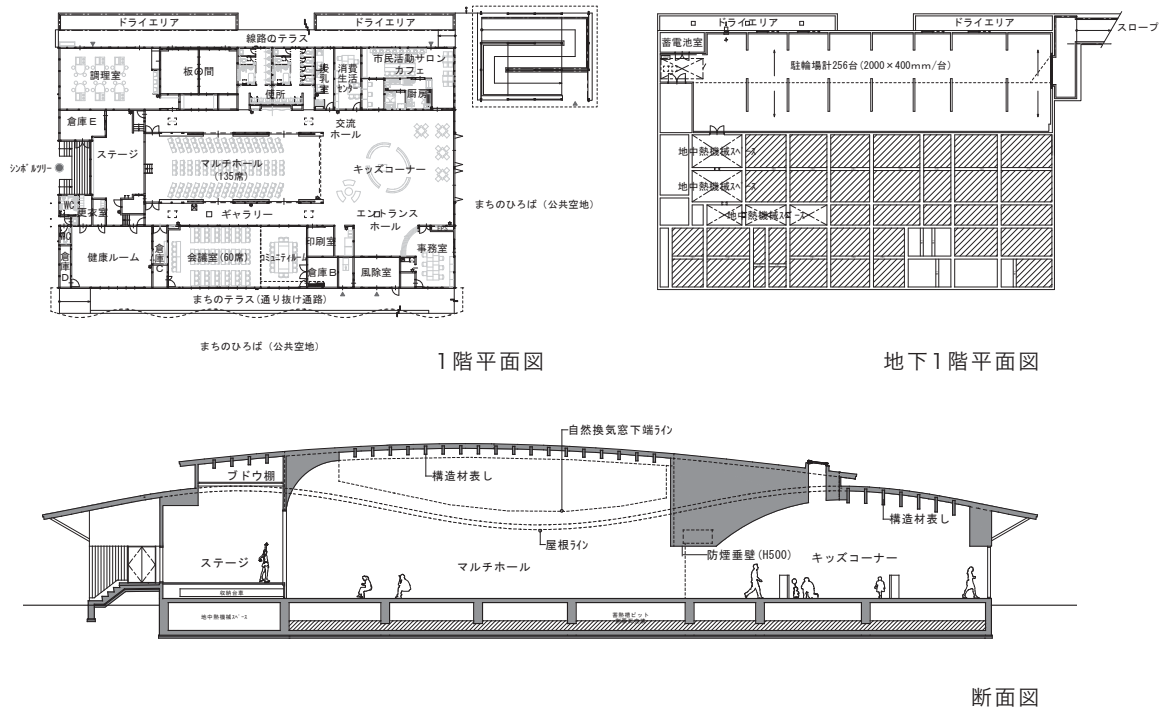
きる自由なホールとなっています。

天窗からは自然光が入り、教会のような親しみのある空間を実現しました。

駅側には外部からアクセスできるカフェを配置し、駅利用者が駅を通過点とするのではなく、気軽に立ち寄れる溜まり場とする役割を果たします。

線路に面した「線路のテラス」や南側の「まちのひろば」は内部と連携した設えとなっており、景観や視線の抜けを意識し配置することで内外空間が一体となり、活動の賑やかさがまちに溢れます。





笠間になじむデザイン

屋根は周囲になじむよう、笠間の山並みの稜線をモチーフにデザインしました。通過する車内からセンターを見た際にも、屋根のラインがきれいに見えるよう計画しました。

またエントランスには稲田の御影石、内壁に笠間焼を使用するなど、笠間のものを用いた内装としました。

室外機はドライエリアに配置することで、外観をすっきり見せています。

環境への配慮

換気システムは地中熱と自然換気システムを併用しています。

自然換気システムは、室内と室外の風圧によって自然と空気が入れ替わる換気システムで、機械に頼らなくても新鮮な空気が入ってくるため、コストの低減に繋がります。

地中熱エネルギーは太陽エネルギーや風力等と比べ、季節や昼夜を問わず安定した自然エネルギーで、暖房時は外気より高い温度、冷房は外気より低い温度の地中の熱が熱源となるため、効率の良い運転が可

能です。

この2つを併用することで、より効率的で省エネルギーに配慮した換気システムを実現しました。



設計事務所名(設計JV名):

株式会社 横須賀満夫建築設計事務所

所在地:茨城県笠間市

主要用途:集会場

建築面積:1,612.32㎡

延床面積:2,030.19㎡

構造:RC地下1階建て、木造地上1階建て



木造塾

平成29年度

平成29年度の「いばらき木造塾」
は、22名の受講生が講義実習に
全力で臨みました。

桑原 文子 県央支部

昨年度に引き続き「いばらき木造塾」を受講しました。

今年度の講座を終え今思えば、初めて受講した時は難しいと感じ、理解が出来ていなかった部分も多々あったように思いました。引き続き受講した事で二年目は前回よりは少し理解できたのかなと思います。

ただ、まだまだ理解できていない部分も多々あるので、引き続きまた勉強を続けていきたいと思っています。前はついでというのがやっとという感じでしたが、今回は次に向けての課題も見えてきたので、自分への宿題も踏まえて学びしっかりと身に付けていきたいと思っています。そして授業も毎回とても楽しいのですが、一緒に学ぶ仲間が出来たこともこの講座に参加して良かったことの一つです。分からないことも自分一人では行き詰ってしまいますが、共に学ぶ仲間がいることで一緒に成長していくことが出来ます。松本先生も未だに勉強会を続けておられるそうで、一緒に勉強をしていける仲間がいるのは素敵だなと思いました。分からなくて行き詰った時に一人だとそこで終わってしまうけれど、仲間がいることで誰かが引き上げてくれる。だから勉強会をするといよいよと助言いただきました。

まだまだ奥深い木造の世界。こうした講座に参加することが出来、共に勉強できる機会に感謝しております。松本先生、講師の先生方々、また共に講座を受講した皆さま、ありがとうございました。



宇梶 真悠 茨城県建設技術公社

「いばらき木造塾」に今回初めて参加させていただきました。

今回の講座は、伝統工法での木造住宅をプランニングから伏図まで演習方式で行う、実践的な内容となっていました。広がり間取りや架構グリットを考えながらプランを立てていくのは基本的なことかもしれませんが、松本先生の講義や演習の時間を通して、より理解を深めることができました。

中でも、松本先生が実際に設計をされた住宅のスライドは印象に残っています。最近の住宅は殆ど天端ゾロで梁を収めますが、伝統工法では仕口は渡り隠が基本です。渡り隠で2階の床を組む場合、外壁に梁の小口が見えてきますが、その住宅はとても自然で外壁の板張りと相性がいいものでした。時代が変わるとともに住まい方や流行も変わっていきますが、伝統的な工法や考え方を現代の住宅にも融合させていけるのは、設計者の工夫次第なのかなと思いました。

また、架構グリットで構造を組むことで内部においても木の構造が綺麗に見えるような手法を講義のなかで学ぶことが出来たのは大変勉強になりました。

松本先生、スタッフの皆様ありがとうございました。

轡田 久恵 県央支部

こうして感想文を書きながら振り返ってみると、毎年この木造塾を受講してきたのですが、

この一年で少し変化が…難しいと思い、ただ聴いているだけになっていたことに対して興味を持てるようになってきました。ようやく少しずつ理解できるようになってきたということでしょうか。

毎回、課題に行き詰まり、提出期限に間に合わず、受講当日までに何とかこなすという、何ともギリギリの受講スタイルになってはしまいましたが、それでも何とか間に合わせながら出席すると、巡回指導時間の中で講師の松本先生はじめ、スタッフの方々が丁寧に、惜しみなくご指導下さり、本当に有難かったです。雑談の中からも得るものが沢山ありました。友人も出来、一緒に図面や資料を広げ、分からないところを確認し合ったりすることで理解が深まりました。

この木造塾でしっかりと勉強して、勉強したことが生かせるような仕事が出来るとなりたいと思っています。

最後に、木造塾を運営されているスタッフの皆様、大変お世話になりました。

毎回充実してとても楽しかったです。引き続き30年度もよろしくお願ひ申し上げます。

関根 祐慶 藤井建設

今回の木造塾を、主催して下さった茨城県建築士会スタッフの皆様と講師の松本昌義先生には、このような勉強の機会を設けて下さったことに大変感謝しております。

第1回目の講義を受講して、住宅を設計するにあたり、部屋相互のつながりを重視して、内外共に開放性を高めた「広がり間取り」を意識する。「架構グリッドプランニング」柱と梁による主要構造ラインを意識して間取りを考えると始まり、2回目以降は架構の組み方、部材断面寸法定方法と進み、プランを修正しながら一軒の住宅を設計していくという、今までの講習会では体験したことのない、実践的な講義で楽しく受講できました。

今後の設計では、現在の在来工法による金物併用の工法だけに頼るのではなく、伝統工法による本来の木組みの家を積極的に取り入れて行きたいと思っています。

しかし、伝統工法は法律やコストの問題、建て主の意識不足などの理由から、その継承が危ぶまれているのが現状であり、伝統工法を今すぐ実行することは難しいのですが、こうして勉強を重ねながら、社会にその価値や魅力を認知させられるよう行動し、設計していきたいと思っています。次回、木造塾が開催されるのであれば、現場で伝統工法の構造架構を見ながら講義を受けられることを期待しております。

飯島 嵩 若槻建築事務所

いばらき木造塾に参加をして、住宅の間取りのデザイン設計の考え方から始まり、外観のディテール、構造に至るまで幅広く学ぶことができました。実際の実務にも活用できる基礎的な部分から丁寧に教えてくれるので分かりやすかったです。現在、プレカットが主流になり金物の併用が前提の天端ゾロになっているが、今回は「渡り顎」での設計で普段とは違った面白さがありました。また、講義だけではなく実際に手を動かしての塾だったので楽しく参加することができました。先生方も丁寧に指導して下さるので理解しやすかったです。今後は、いばらき木造塾に参加して学んだことを活かしていきたいと思っています。

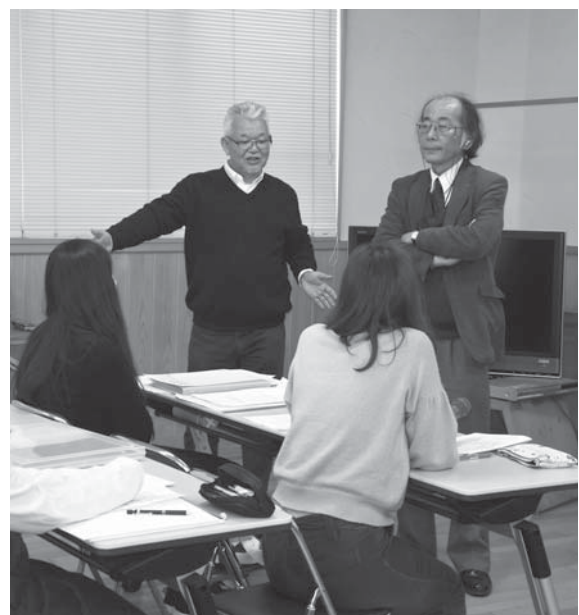
檜山 悠希 若槻建築事務所

今回、いばらき木造塾を通じて住宅の間取りの考え方（広がり間取り）から構造（架構グリッドプランニング）などを学ぶことができました。普段の仕事にも活用できるような

基礎の部分から丁寧に教えてくれましたので分かりやすかったです。仕口、継手についても一つ一つ図面や絵を使って説明して頂いたので改めて学ぶことができ、在来工法が主流のなか、伝統工法についてさらに興味を持ちました。講義で学んだことを、実際に手を動かして確認し、先生方が指導して下さるのでスキルアップにも繋がったと思います。いばらき木造塾に参加して学んだことを仕事でも活かしていきたいと思っています。

木造塾 塾長 藤井 耕市

木造建築や木材等に関する技術、知識を習得し、住宅設計、木造建築の技術に精通した建築士の育成の為、平成26年に始まった講座は「最低3年間はやりましょう」の合言葉に始まり、今回4回目の講座を終了することが出来ました。今回も建築家吉田桂二氏に師事し「木の建築学校」などの講師としても活躍中の松本昌義氏を中心に計6回開催されました。会場は当初からの(株)茨城県木材相互市場さんのご協力で研修施設を借り、座学を中心に講座を行いました。次年度、5回目を開講するか否か検討を行いましたが、「間取と構造」をきちんと理解するための講座に加え、2020年から義務化される住宅の省エネ計算、リフォーム設計のポイント等塾生の要望に応えられるカリキュラムとし、平成30年度も第5回目の木造塾を開催することとしました。松本先生も塾生の為なら最後まで付き合いたいと協力を承諾してくれました。1回ごとでの参加も可能とします。参加の興味のある方は是非ご参加ください。



浄化槽の「ちから」

私たちの使命は、

子供たちが水まみれ泥まみれになって遊ぶ事のできる、
笑顔であふれた小川や水辺を再生する事です。

浄化槽

国内トップのサービスと
豊富なラインナップで
さまざまなニーズに
お応えします

製品開発

合併処理浄化槽の
高度処理化
コンパクト化に成功
世界一の製品力

研究開発

数々の特許を取得
さらなる環境保全に
貢献できる
新製品の研究

地域貢献

水処理技術で
地域の水環境を改善
小容量、省エネルギー
地球環境に優しい浄化槽



ECO.IBARAKI

茨城エコ事業所
登録No. AA-L 95



美しい水を守る

株式会社 **フジクリーン茨城**

〒311-4164 水戸市谷津町細田1-21 水戸西流通センター内
TEL:029-254-7777 FAX:029-254-7778
<http://www.fujiclean.net/>

HUG

体験ワークショップ 活動報告

(一社)茨城県建築士会 青年女性委員会
防災塾・だるま (白田克雄・中村俊光・成松洋)

1. HUG 体験ワークショップ の概要

主催	(一社)茨城県建築士会 青年女性委員会
協力	防災塾・だるま 白田克雄(リーダー) 中村俊光(講師)成松洋(ツール・レポート)
テーマ	防災・減災について考えよう! HUG(避難所運営ゲーム)から学ぶ 災害時の避難所生活の実態を知る
日時	平成29年12月2日(土)13:30~17:00
会場	茨城県開発公社ビル 1階中会議室
参加者	36名(6名/グループ×6グループ)
進行	13:30~13:35 開会挨拶 横須賀 孝 (茨城県建築士会青年委員長)
13:35~13:50	防災塾・だるま挨拶とHUGの説明 (白田リーダー)
13:50~14:05	アイスブレイキング (各グループで自己紹介、役割分担)
14:05~16:55	HUG の実践(中村講師)
14:05~15:10	HUG の実践(前半)
15:10~15:25	休憩
15:25~15:45	HUG の実践(後半~まとめ)
15:45~16:55	グループ発表・質疑・講評
16:55~17:00	閉会挨拶 平沼 清美 (茨城県建築士会女性委員長)



横須賀 青年委員長

司会の根本さん

災害では予想がつかない事態に遭遇します。いざという時に対応できるには…今回は避難所運営をテーマにワークショップを企画し、また、水戸市地域安全課危機管理室の協力で防災グッズの展示も実現しました。皆さんとゲームを通じて楽しく・真剣に防災を学びたいと思います。

2. 防災塾・だるま挨拶と HUG=Hinanjyo(避難所) unnei(運営) Game(ゲーム)の説明

HUGは、万が一の時の避難所運営を、カードに書かれた、続々と避難してくる避難者情報・次々と発生する事案・問題・災害本部からの連絡・照会等はどう対応するか



白田リーダー

を、避難所と体育館の図面に落とし込んでいく、ゲーム感覚で防災を学んでいただくものです。防災に備えるということに終わりはありません。「これが正解」というのではなく、みんなが全員参加で、どう対応するか・なぜそう対応するのかを考えて議論していただくことが、皆さんの防災への引き出しを増やしていくことにつながります。

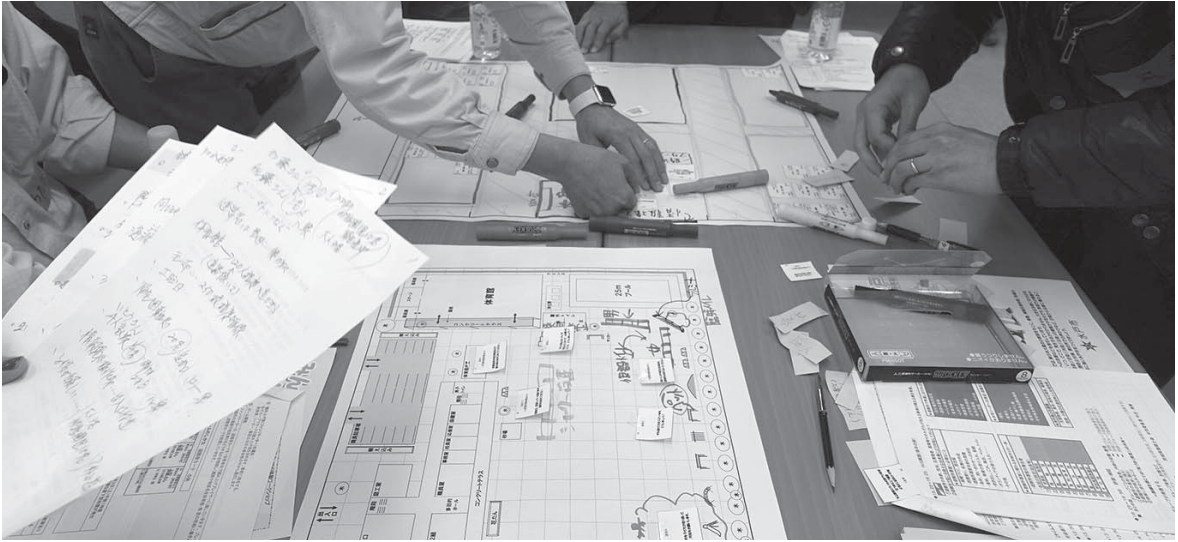
3. HUG(避難所運営ゲーム) の実践

皆さんは、自治会役員という避難所運営の責任を担う立場にあります! 地域全体が甚大な被害を蒙り、ライフラインも止まりました。カードに書か



中村 講師

れた様々な事情を抱えた避難者、次々と入る連絡・照会、発生する事案・問題にどう対応したらよいか、皆さんが協力して考え、図面に落とし込んでください。今回はグループ発表にたっぷり時間を割いて、それぞれの対応でどんなことがポイントとなったのか・なぜそのような対応をしたのか、などをみんなで議論し、またコメントをしたいと思います。皆さんの「気づき」が大切です!」



ゲーム前のアイスブレイキング



- 1.役割分担を決める。
 - ・ファシリテーター
 - ・グループリーダー
 - ・書記
- 2.なごやかに自己紹介。

ファシリテーターが順に読み上げるカードの情報や事態に、最初は戸惑いながらも、ゲームの進行につれてエンジンがかかり、議論も白熱していきます。

中村講師・白田リーダーが各テーブルを巡回。やりとりを通じて、「何が正解か？」ではなく、みなさんは「どんなことに気づいたのか?」「なぜそのような対応したのか?」を引き出していきます。

《体育館》

最大スペースである体育館では、受付、通路、避難者スペースと割り振り、間仕切り、物資の保管などをどう配置していくかなどのポイントが議論され図面上に反映されていきました。

《避難所全体図面》

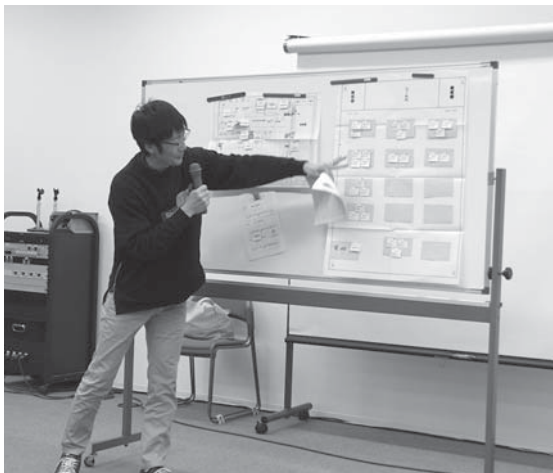
本部・受付や掲示板をどこに設けるのか、仮設トイレをどこに置くのが等で真剣な議論がされました。



休憩時間に入っても議論は止まらない…エンジン全開!!

4. グループ発表

体育館スペースの割り振り、プライバシーの確保、間仕切り、物資の保管・配分、学校の教室や職員室などの施設は使えるのか? 予め取り決めておいた方がよいことは何か? 避難者リスト作成、避難者の戦力化の視点、個人情報の扱い、一時的避難者への対応、情報発信、高齢者・要援護者・女性・子供の安心安全への対応、ペットそしてトイレ問題!…ポイントが浮び上がる。



全力投球の発表風景 発表者と中村講師のやりとり、講師のつつこみに会場爆笑「気づき」もしっかり共有！

中村 講師 コメント

まずは、今回ご参加頂いた皆さん・運営頂いた関係者の皆さん、滞りなくワークショップが終了できましたのも、皆さんのお陰です。ありがとう御座いました。今回も皆さんの「熱意・真剣さ」に感動・感謝です。「避難所運営」と言う同じテーマでも、グループごとに色々な意見が出て、「なぜそこに？」の見解も色々出てきます。それがいいのです。他の人の意見に耳を傾ける、なるほど、その考え方があったのか等々、ワークショップだからこそ出来る事だと思います。それが「気づき」です。機会がありましたら、またやりましょう。お疲れ様でした。

白田リーダー まとめ

日常と非日常ほとんどの人が生活をする上で大人の場合、仕事と趣味や家庭で「普通」に日常生活を過ごしていると思います。仕事の悩みや家庭での思いがけないトラブル、地域社会での付き合いなどからくるストレスを抱えながら、時々解放されたいと思

いから、非日常を求めて身近ではお酒を飲みに行き憂き晴らしをすとか楽しい旅行をする、またディズニーランドで遊ぶとかして非日常で気分転換して能動的にストレス解消をしているのではないのでしょうか？

しかし災害や犯罪には備えているが、特に自然災害はパターンが決まっていないし、ある日突然襲ってくるので、受け身上、災害に巻き込まれる率が多いと言えます。

防災知識は専門家の話を聴いても、理解する場合がありますが、その防災行動に移る可能性が少ないようだ。何事もこれが完璧とは世の中に有り得ないが、「知らないより、知っていた方がよい」という見地から、一方では防災シミュレーション・ゲームを通して「気づく」と「見える化」を学び、防災に関しての引き出しの多さを積み重ねて行くことが「万が一の時」に役立つ大切な事だと思います。しかしながら情報過多などを取捨選択するのは自分自身に起因するが、難しく何が必要なのか研鑽を積み、また知識が少ない人たちに伝えて行くようになれば、防災知識や防災活動の上級者になるのではないのでしょうか？

「人のお役に立つとは、自分のためになる」との信念で、他から跳ね返って来ないかも知れませんが、継続して活動することによって前に進むことだと信じています。

いずれにしても今回、茨城県建築士会の要請によりワークショップを開催したことは、我々にも有意義であり、またワークショップ中や休憩時間、休憩場所等で、さらに一つ勉強もさせて頂きました。至らない点もあったと思いますが、平沼女性委員長、横須賀青年委員長並びに参加者の皆さまに感謝申し上げます。

5. 閉会挨拶

初めての防災ワークショップで不安もありましたが、防災塾・だるまの皆さんに協力いただき、行



平沼 女性委員長

政の方々の参加・協力も得て、36名の参加者が各グループで活発な話し合いができ、様々な気づきや発見をすることができました。避難所について、今回運営する立場で考えることで、参加の方々が真剣に

向き合い、たくさんのことを学んだと思います。いつどこで起こるか分からない災害等に備えて、防災対応力を高め、皆で支えあうことができる判断力を身につけておくことの大事さに気づきました。

「水戸市役所 地域安全課危機管理室」による防災グッズの展示風景



■企画・設計・監理



株式会社 戸頃建築設計事務所

代表取締役 小川 憲一

〒310-0043 水戸市松が丘1-2-23

TEL:029-226-4869(代) FAX:029-226-4894

E-mail : tokoro@mbb.nifty.com

茨城県建築士会県西協議会

創立50周年 記念式典開催 の報告

常総支部 杉田 次夫

県西協議会創立50周年という節目の年を記念して、2月23日（金）筑西市のダイヤモンドホールを会場に記念式典が盛大に開催されました。式典にあたり、記念講演会として「防災危機管理と建築士」と題して、溝上 博先生にご講演を頂き、平成27年9月10日から11日にかけての関東、東北豪雨の被害状況についての詳細な説明がありました。被災時には建築士の協力が必要であるとの説明を受け、会員一同新たな使命感に燃え、建築士としての自覚をもってこれからの活動に励みたいと心新たな勉強の場となり大変有意義な時間を過ごす事ができました。

又、ご来賓のご臨席、多くの会員のご参加を頂き、式典が開催できた事、感謝と共に大変意義

深く、会員皆様の日頃の並々ならぬご努力の成果により50年の長きにわたり建築士としての使命を全うされた事に対し、深く感銘を受けました。

県西協議会の飛躍のために

県西協議会創立当初は県西地区の8支部により結成されましたが、平成24年度から7支部にて構成され、会員数も数多く事業活動も盛んに実施されています。毎年6月にはチャリティゴルフ大会、9月には女性交流委員会により交流研修会が実施されており、平成29年度の研修会では「圏央道で行く長瀬と文化財めぐり」と題して、埼玉県の遠山記念館、秩父の旧荒井家住宅の歴史的建造物を見学した後に長瀬岩畳公園を



県西協議会 武村会長



(一社)茨城県建築士会 柴会長



溝上先生のご講演



功労者表彰



視察致しました。又、9月には建築基準法改正が頻繁にある事から、要望が多い講習内容を精査して、「会員の為の勉強会」を継続して行っています。毎回、講習会場が満員御礼になるほど盛況であり、会員の為になる内容である事を目的として実施している事で多くの会員が参加されています。さらに10月にはゴルフ大会、11月には60名を超える会員が参加しているボウリング大会など毎年恒例の事業も会員の親睦を深める為に実施しています。

一口に50年と言い切れない長きにわたって培った歴史を財産として、県西協議会は今回の50周年を節目として、さらなる発展を目指しています。

会員のご理解とご協力を賜りながらより一層の会の充実を図るために、個人では研修できないような勉強会も、協議会が主催する事で内容の濃い勉強会を開催できる場合もあり、今後も会員の為に寄与して行きたいと考えています。県西協議会では今後も建築技術の日進月歩に対応すべくスピード感溢れるアクションを展開し、会員の資質の向上に邁進する事が必要不可欠であると

考えています。

今後も関係官庁との積極的な協力を仰ぎ、災害に強い、安心で安全な街づくりに貢献することが、建築士の資質を向上させ、県西協議会をさらに飛躍する事が出来ると考えています。

50周年記念式典に参加して

筑西支部 中山 和朗

創立50周年記念式典を開催出来たことは、大変喜ばしいことでした。

常総市役所危機管理監の講演や国土交通省並びに茨城新聞社様のパネル写真をお貸し戴き、防災危機管理に関する勉強をさせて戴きました。これからも、建築士の役割が益々重大であると思われるので、会員のための県西協議会を存続するために、講習・研修会を実施しつつ、会員の意思疎通を図られるような場を設け、一人でも多くの方に参加して戴き、活性化を図れることを期待しつつ、これからの建築士会の課題にも、積極的に関わられるように微力ながら私も頑張っていきたいと思いました。

建物設計・監理 建築許可申請 建築確認申請

和 設 計 室

一級建築士 鈴木 孝 和

〒309-1212 茨城県桜川市富士見台二丁目29番地

TEL 0296-76-1178 FAX 0296-76-1226

e-mail : kazu-sek@js2.so-net.ne.jp (kazusekkei@yahoo.co.jp)

第13回市内小学校絵画展

今年度も建築士会石岡支部のまちづくり活動の一環として第13回市内小学校絵画展を開催しました。

以前は、5年生、6年生が対象でしたが、生徒減少により応募作品が減少したため昨年より市内小学生4年生・5年生・6年生を対象に募集しました。

絵画のテーマ「未来に自分が住んでみたいまちや家」「いしおかに、こんなお店があったらいいな!」画用紙の4つ切りサイズで、夏休みの宿題として、教育委員会を通して市内19校に募集要項を7月に配布し募集をお願いしました。昨年より、石岡市教育委員会の後援と、また、協賛を今回もぺんてる株式会社様に、ぺんてる賞の商品2点と参加賞の提供をいただきました。また建築士会本部よりブルーベリーの苗木を参加賞として配りました。

9月の6・7日、総務委員で手分けして作品を回収した結果、135点の応募がありました。審査会を9月22日に石岡市役所八郷総合支所1階大会議室

で建築士会支部役員・総務委員・安倍田奈緒美先生(絵画の先生)14人に協力をいただき安倍田先生を中心に各賞を決定していきました。

金賞(教育長賞)1点・銀賞2点(支部長賞)・銅賞3点・ぺんてる賞男女各1点・総務委員長賞1点・石岡観光賞1点・入選8点の展示を市内の中心部にある「まちかど情報センター」に入賞以上の絵画18点を9月23日より10月4日まで展示しました。また11月4日より11月19日まで中央公民館へ参加者全員の作品135点を展示しました。

絵画展・表彰式を市内国府地区公民館にて表彰者と保護者・家族を含め建築士会支部役員・総務委員・安倍田奈緒美先生・石岡市教育委員長に参加いただきました。

その中で、安倍田先生には作品について講評をプロジェクターで作品をみながら行っていただきました。今年度の反省として市内小学校への依頼を6月に前倒して作品の応募を多くしたいと思います。



木耐震・空き家対策委員会からの活動報告

はじめに、29年度第3回つくば市空き家等無料相談会についての報告となります。実施日は1月27日つくば市庁舎2階において13時から17時まで行いました。

筑波支部会員3名(松田祐光・小泉芳男・藤田克則)とつくば市建設部営繕・住宅課空き家対策室より3名の他、茨城司法書士会、公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会(土浦・つくば支部)の協力による無料相談会を実施いたしました。相談者には事前予約をしていただき、持参した資料等を基に各班ごとに相談員がアドバイスをを行い、前回同様予約相談時で満席、3チーム×4組 計12組の相談がこの日実施されました。

すでに空き家になっていらっしゃる方からのご相談もあれば、今後、空き家になる可能性が高いので、どう対応したらよいか等、又は、相続放棄も含めた遺産管理のご相談が寄せられました。

次に、つくば市からの委託事業である平成29年度年度耐震啓事業(出前講座)についての報告

です。平成30年2月4日(日)つくば市役所広岡出張所広岡交流センター(桜ニュータウン内)において13時から15時までの時間帯で行い筑波支部会員10名(潮田充・池島・青木・長瀬・潮田浩・松田・斉藤・一色・茂垣・藤田)の他つくば市役所より3名が参加し、つくば市内の下広岡1.2.3地区、下広岡南地区、桜ニュータウン内北・中央・南地区558世帯の皆さんを中心とした講座を実施しました。

耐震啓発の出前講座では、大きな地震が来た場合、あなたの住宅は耐えることができるのか(耐震診断の必要性)、耐力不足の場合の補強方法の大切さについて、地域住人の方に模型等を利用して解説しました。区域対象者の内、20組の参加をいただきました。

今後もつくば市と筑波支部会員と共に、相談会や耐震啓発の事業を行い、広く一般の方々に建築士会筑波支部の活動に、より目を向けていただきたいと思っています。



空き家相談会風景



地震発生装置とビデオでの地震時の建物の揺れ方説明



耐震セミナー出前講座の全景

建築士会筑西支部会員の為の勉強会報告

年度末の忙しい時期に開催することになってしまいましたが20名の熱心な会員の参加を頂きました。3月7日筑西市アルテリオ2階研修室にて午後3時より第1部優れたもの断熱パネル「ニスクボード」を知る、午後4時より第2部「筑西道の駅」地元を知るを開催しました。

第1部の「ニスクボードを知る」は、メーカーの日鉄住金鋼板(株)部長代理の後藤昌司氏からレクチャーを受けました。製品の特長 ①耐震壁倍率4.3 ②防火構造認定 ③高い断熱性能 ④超気密住宅。35mmの厚みで熱伝導率が最高に優れています。但しシンプルなデザインに向く屋



根、壁の下地材です。省エネ法の義務化に対応しています。施工マニュアルに従えば高い断熱性の建築を手に入れることが可能になりました。

第2部冒頭、配布されたA4の「筑西市道の駅整備事業」のパンフレットからの説明で、鈴木駅長より平成31年8月オープンの話聞き、遂にわが町にも「道の駅」が出来る希望と期待が現実のものとなって来ました。東京に向う294号線などの縦軸路線に対し、環状線である50号線は交通量も

少なく心配でしたが、調査データによればそれ以上の交通量がありました。

近隣の「道の駅しもつけ」では通行客だけでなく地元の来場者が50%超とのことに見方を変えないといけない。町おこしのショッピングセンターの役割も兼ねる訳であります。敷地面積が下野の1.5倍48,000㎡と広大な敷地は後発を逆手に夢が詰まった駅が出来る事を願わずにはられません。

さて、私達の本業の建屋の構想とレイアウトを聞くにつれ既存駅との差別化がもう一つです。東京五輪メイン会場の様に木材の活用や古民家の廃材利用など、検討の一つです。



建築士会筑西支部活動事業として昨年、市文化財の雷神社本殿改修工事の現場研修会を行いました。本年もまた、筑西市でしか学べない事業を企画いたします。

人口減少は建築士会でも例外ではなく会員の高齢化、廃業などで拍車をかけている状況です。地元を知り、地元で仲間と一緒に活動し、積極的に参加して、まちの活性化につながればと願っています。

恒例のボウリング大会

平成30年3月10日(土) ひたちなか市の勝田ミナミボウルにおいて、毎年恒例の『ひたちなか支部ボウリング大会』を開催しました。

年度末にもかかわらず、多くの会員及び家族が参加しました。

大会は、川又支部長の流れるような始球式で始まり、豪華景品をかけた2ゲームに突入! 皆さん、日頃の練習?の成果を発揮できました。

優勝は、3連覇で高橋、準優勝には近藤さん、3位には河西さんが入賞されました。大人も子供も豪華景品をいただき、にっこり!

『また来年も参加したい』と、とても楽しんでいました。

その後、勝田駅前の居酒屋で懇親を深める会



を催し、来年度に向け貴重なそして活発な意見交換を大好きなお酒と一緒にいただくことが出来ました。皆さんお疲れ様でした。来年も開催いたしますので多くの方のご参加をお待ちしております。

株式
会社

相澤建築設計事務所

代表取締役 相澤晴夫

(一社)茨城県建築士事務所協会会員

(一社)茨城県建築士会会員

〒300-1256 つくば市森の里1169-2

TEL (029) 876-0617 FAX (029) 876-0679

人に優しく、環境に優しく、
全ての Workplace を演出、サポートする...

株式会社 新日東

〒311-0105 茨城県那珂市菅谷 3127
TEL:029-270-8551 FAX:029-270-8552
<http://www.shinnitto.co.jp/>

内装仕上工事業 茨城県知事許可(般-26)第25910号
高度管理医療機器等販売業(常陸大宮保険所長許可 宮第26号)



(営業品目)
造作家具・学校施設家具備品・間仕切工事
特殊浴槽・福祉機器備品・スチール家具...

『古民家に学ぶ木の家づくりとまちづくり』を受講して

木造住宅とのかかわり

生まれも育ちも八王子の関谷真一さんが建築に触れたきっかけは、材木・建設業を営んでいた祖父の存在でした。幼少期の関谷さんは家に残っていた材木を使って遊んでいたといいます。

工学院大学に進学し・大学院まで山下司研究室で建築・都市計画を学んだのちに、小町和義さんが主宰する(株)番匠設計に入社、すぐに設計を任せられます。とはいえ、大学で学んだのは設計の仕方であって、特に木造建築を学ぶ機会はなかったため、関谷さんは見よう見まねで木の特性を体得しました。

「小町さんは奇をてらわない、正統な木造建築をされる方、そのおかげで番匠設計にいたころは木の組み方や材木についてきちんと習得できました。そして、とにかく実践で学ばせるところでしたね。大手の建築事務所だと現場に行ったことのないまま図面を描くこともあるようですが、私は実際に現場に行って職人さんの話を聞くこともできました」

番匠設計で研鑽を積み、1996年に独立し「一級建築士事務所 結設計室（現在は(株)結設計室）」を設立し、これまで大小含め60軒ほどの木造の個人住宅や別荘などを手掛けてきました。こうした経験をもとに木造住宅のイロハをまとめた著書『基本の家づくり百科』は5万部のベストセラーになりました。

古民家に学ぶ

「建築はつくること自体が目標でなく人の生活・安心などを意識してつくるのが大切。だから施主の考え方やライフスタイルなど、いろんな意見を参考に設計を始めます」

施主の意向とともに関谷さんが意識するのは、「自然環境を活かした家づくり」。自然の木材というのは、節があり、湿気によってねじれ

たり、反ったり、時には割れたりしてしまうもの。けれどもこうした木材を無理なく使うほうが、構造的に強くなるだけでなく、コストも抑えられます。

そのことを関谷さんは、番匠設計時代に金沢の民家を伊豆に移築し、再生する「いりあい村の家」というプロジェクトを通して学びます。「昔はクレーンなどもなく、技術的にも単純な構造の家が建てられていたんです。けれど、家としての構造は強いですし、長持ちもします。増改築がしやすく、存在感もありますよね。この移築にかかわったことで、日本の民家の魅力を改めて感じることができました」

日本では敗戦直後の復興を速めた影響か、安普請が主流となってしまっていて、世界的にも短い30年サイクルで木造住宅が建て替えられている現状があります。一方、伝統的な古民家は100～200年の耐用年数を誇っています。関谷さんは古民家の再生を経験したことから、1世代といわず、何世代も使えるような家づくりを志すようになりました。

市民運動とともに

関谷さんは、八王子を中心に、地域のまちづくりや福祉、環境に絡む多くの市民運動にもかかわってきました。家づくりでも、運動を通じて得た個人的なつながりが多いといいます。その代表的な建築例が長崎県西海市にある雪浦の家です。市民運動に参加するなかで、反原発で知られる物理学





者と知己となり、神奈川から長崎に移住しようとしていた際に声がかかり、棚田跡に新たな住まいを設計しました。自然素材をふんだんに取り入れ、太陽熱などを活用したこの家は、2007年に長崎県木造住宅コンクールの最優秀賞を受賞します。

石巻市北上町白浜復興住宅

一時的な仮設住宅ではなく「恒久的に住むことが出来る復興住宅」が本来であるとして、白浜地区海拔50メートルの高台に11棟の復興住宅の建設が進められました。工学院大学が企業からの寄付をいただき、建設しました。結設計室は、復興住宅の設計を担当しました。地元の木材を使い、地元の工務店が元請となり施工しました。屋根材は、古くから地元の建物に利用された天然スレート葺きとし、一部に地元産の雄勝石(おがついし)を利用しました。

3.11東日本大震災の直後の4月から現地へ入り、

設計を開始し、同年の年末に入居が始まりました。

「K×Kプロジェクト」

母校である工学院大学と協力しながら取り組んでいる仕事の1つに「K×Kプロジェクト」があります。工学院大学八王子キャンパスには、には、20棟あまりの小規模な部室・物置など、老朽化し建て替える必要が出てきました。そこで、工学院大学が建築学部の学生たちに向けて、多摩産の材木を使って10年間で少しずつ建て替えを進めていくというプロジェクトを提案。関谷さんは、学生のアイデアを取り入れながらの設計作業にかかわっています。

木造建築を学ぶ機会がほとんどない大学のなかで、学生たち有志によるサークル活動として、できる範囲で設計や施工にかかわり、木の家づくりに励んでいます。関谷さんが学んできた木造建築の技術を、新たな世代が徐々に継承し始めているのです。

安心とくつろぎをお届けする

有限会社 亜細亜警備保障

〈施設、イベント、駐車場、巡回、交通誘導〉

代表取締役

尾崎 嗣 朗

本社 那珂郡東海村舟石川845-4

〒319-1111 TEL 029-282-7056(代)

FAX 029-282-7017

E-mail:asia_keibi-bajien@eos.ocn.ne.jp

『施設見学会』 那珂川沿いの建築物 と温泉を満喫

平成30年3月17日(土)、今年で第9回目となる「有名建築家による施設見学会」が実施されました。今回のコースは栃木県益子町より国道294号線を北上し那珂川沿いに那須町までを一日かけて廻ってきました。ぐずついた菜種梅雨の合間、何とか天候も一日持つていただきました。

【フォレスト益子】益子町 内藤廣設計

建築家、内藤廣による創意。施設としてのコンパクト感もよくできている。無駄な立派さではなく、機能や運営もシンプルにした継続のデザイン。森の中にあり、気持ちを整えたいくなる素敵な環境。寂し過ぎず、うるさ過ぎず、森特有の静けさがある。自然と建築デザインの合致による程よい緊張感とリラックス感が特徴。

【栃木県なかがわ水遊園おもしろ魚館】

大田原市 古市徹雄 設計

2001年(平成13年)7月15日に開館。関東地方を代表する鮎が遡上する清流、那珂川と箒川の畔に在り、様々な淡水の魚類を展示している「おもしろ魚館」の他に公園、展望台、お魚ふれあいステーション他の施設が整備されている。目玉であるアマゾン熱帯魚を展示する巨大水槽とドーム型のトンネルは圧巻でした。



【芦野温泉施設】那須町 高須賀晋

柳澤孝彦+TAK建築研究所他 設計

温泉施設(設計者高須賀晋)は1995年(平成7年)新設。建築時は「平城のようだ」と話題に。4種の風呂の他、露天風呂があり、コミで広がる水素温泉と



薬草湯はリピーターも多い。その後2004年に竹中工務店設計部出身の柳澤孝彦+TAK建築研究所により本館部分と共に大幅に改修されていました。

【旧馬頭町広重美術館】那須町 隈研吾 設計

建物は、「広重の芸術と伝統を表現する伝統的で落ち着いた外観」をコンセプトとし、自然豊かな那珂川町の景観に溶け込むよう、ゆったりとした平屋建てに切妻の大屋根を採用しました。美術館全体は、地元産の八溝杉による格子に包まれ、時間とともに移りゆく光によってさまざまな表情を見せます。内装にも地元の材を使い、壁は烏山和紙、床は芦野石でできていました。

【茂木町まちなか文化交流館「ふみの森もてぎ」】

茂木町 内田文雄+龍環境計画 設計

300年続いた酒造蔵元の跡地に建てられた「図書情報館」、「歴史資料展示室」、「展示・町民ギャラリー」、「体験研修室」、「ブックカフェ・まちかどサロン」等が複合する町民のための施設。その場所にあった「仕込み蔵」や「土蔵」を残しながら、町が育てた町有林を利用した空間がつけられていた。



地域情報誌を見て参加された一般の方達を混じえ、日帰りの施設見学会で春の一日を満喫しました。

板塀と木製ベンチの 温もりのある まちづくり

平成26年度に土浦市有地にて景観まちづくり事業である「中城通りポケットパーク」を総工費88万にて整備後、その実績が認められた土浦支部は、土浦市より「景観まちづくり団体(第1号)」に認定され、まちづくり活動資金の半額が補助されることとなり、行政と連携しながら着実にその活動を積み重ねてまいりました。土浦駅前のバス停に設置されていた、蓮をモチーフにしたベンチの大胆なりニューアル化、「土浦の歴史」を説明する毛筆による案内板の作製、そして、景観整備と空き家対策を考えるワークショップを定期的



に行つて、建築士として出来る地域貢献とは何かを模索しています。

また地域住民との連携を取りながら、歴史的街並みを生かした板塀整備事業にも取り組まっています。



珪藻土

漆喰

土壁

砂利洗い出し

人造石研ぎ出し

左官・塗装・防水・リフォーム工事のパイオニア



株式会社 根子左

NEKOSA CORPORATION

〒310-0851 茨城県水戸市千波町2830-5

Tel. 029-241-4057 Fax. 029-241-7071 〇 www.nekosa.com 〓 main@nekosa.co.jp

「プラスアップセミナー」～耐震工事(壁柱)について～

今年で2回目となる当支部主催のプラスアップセミナーは、昨年の第1回目で行った「熊本地震について」に引き続き、耐震工事に関するセミナーを開催致しました。耐震工事といってもいろいろ種類や工法がありますが、私が実際に調べて、現地の実大実験にも参加して、これだというものを今回のセミナーの題材とさせて頂きました。工法の名前は「壁柱」と言います。この工法は「大阪府木材連合会」と「京都大学防災研究所」の共同開発により、特許を取得されているもので、種類によっては筋交の代わりとして使用する事が可能です(大臣認定を取られています)。今回のセミナーはその開発者でもある、京都大学防災研究所の教授でいらっしゃる「川瀬博先生」にお越しいただきまして、「壁柱」の工法につ

いての説明や、今までの地震に関するメカニズムなど、2時間にわたり丁寧にご講義くださいました。内容はかなりマニアックなもので、会員の方からも満足のいく感想を頂く事が出来ました。主催が支部という事もあり、参加人数は38名でしたので、是非、次回は本部主催で行って頂ければ幸いです。



豊かさへのかけはし



総合建設業 **多賀土木株式会社**

代表取締役社長 **松山 昭彦**

本社 / 日立市東多賀町 2-2-3

TEL 0294(36)0111

FAX 0294(32)0040

高萩営業所・ひたちなか出張所

茨城県建築士会の皆様へ、

VELUX®

日本ベルックス株式会社 営業部

緊急特別企画「天窗モニターキャンペーン」ご案内

【対象物件】

- 天窗を「しばらく(1年以上は)使っていないア…」という方へ ⇒ ご担当のお客様物件に是非!
- プロ(建築関係)の方へ ⇒ ご自宅や社屋でも是非!
- ※ 物件対象のご相談につきましては弊社営業担当までお問合せ下さい/筒井090-1505-9354

【条 件】

- お申込み2018年11月迄、且つ、天窗の納材は12月迄、が可能な物件に限らせて頂きます
- 一社・お一人様・一物件、に限らせて頂きます
- 完成後、内観のお写真「天窗効果が感じられる一枚」をご提供ください ※ 社内参考資料として利用

【対象商品】

- ベルックス純正品/価格表に掲載された商品 1セット (天窗本体/水切り/オプション)
- ※ GGH排煙天窗は特殊品のため除外

【適用価格】

- 1セット・・・無償モニタープレゼント
- 複数台ご採用の2セット目以降・・・特別割引価格 (※通常より1~2割程度のお値引 / 上限全10セット)
- ※複数台ご採用の場合、2セット目以降分の購入には通常の納材ルート(VELUX正規販売店)をご利用頂きます。
- お申込みは、下記<流れ>をご参照ください。またサッシ系他社様のロゴ製品は運用上、除外させて頂きます。

【申込時に必要な情報】

- 下欄「天窗モニターキャンペーン申込書」
- 対象物件がわかる資料 (立面、平面の図面など)

<お申込みの流れ>



茨城県建築士会「天窗モニターキャンペーン」申込書

依頼日	年	月	日	※申込み締切/2018年11月迄
会社名/ご担当者	/			
ご連絡先/e-mail	/			
対象となる建物	選択 (ご自邸/社屋、 お客様邸)			
物件名/〇〇市	/			
ご希望明細 ※1セット→プレゼント 2セット目以降→割引価格	天窗本体	: () × ()窓
	専用水切	: () × ()個
	オプション	: () × ()個

※申込書記載の上写真添付、又は該当情報を日本ベルックス(筒井)宛てメールにてお送りください。(FAXでも結構です)
送付先 E-MAIL : ichro.tsutsui@velux.com / (FAX : 03-3478-8147)

知事指定講習「建築士会技術講習会」

平成30年2月14日に茨城県建設技術研修センター3階大ホールにおいて、「建築士会技術講習会」を開催いたしました。

この講習会は、建築士法第22条第1項、第2項及び第22条の4第5項に基づき実施されるものであり、建築士の知識及び技能の維持向上を図るため、茨城県の建築士事務所指導要綱告示1455号により知事指定され、5年に一度の受講をお願いしている講習会であり、建築士の自己研鑽を目的として開催しております。

講師には（一財）茨城県建築センター建築課長佐藤昭市先生をお迎えし、DVDも併用した講義は理解しやすく、テキストの解説も時間の許す限り丁寧にいただきました。

約5時間半の長時間の講習会でしたが、156名の受講者の皆様は集中力を途切れさせることなく、真剣な表情で解説に耳を傾けている姿を目の当たりにしまして、大変有意義な講習会になったと感じました。

またこの講義日は、水戸市内にあるスマートフォン、携帯電話、タブレット端末が一斉に鳴動する「水戸市いっせい防災訓練」の開催日と重なってしまいましたが、事前に事務局がリサーチしていただいたおかげで、講義開始前の注意事項でも説明することもでき、鳴動中は講義を中断することになりましたが、混乱もなく再開することが出来ました。

何人かの受講者の方に講義終了後感想を伺ったところ、設計に関する講義より施工に関する講義のほうが参考になったとの感想をいただきました。

本講習を今後の業務に役立てていただければと思います。



K 有限会社
クボタ建築設計事務所

代表取締役
一級建築士 **久保田 吉文**

事務所 〒315-0001 石岡市石岡3055-9
TEL 0299-23-9305 FAX 0299-23-9307
E-mail : info@kubota-sekkei.co.jp URL <http://kubota-sekkei.co.jp>

第21回 会員美術展開催

平成30年3月15日(木)～3月20日(火)

茨城県立図書館1階ギャラリー

恒例行事の「茨城県建築士会 会員美術展」が、今回は、茨城県立図書館において、3月15日から20日まで開催されました。

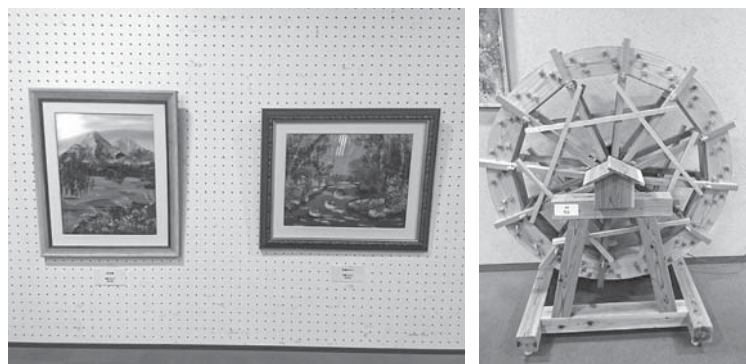
第21回の今回は、会員が、趣味の部分でも日々技術向上を目指しながら力作の数々を、18名の方々に出品して頂き、「書」「写真」「陶芸」「工芸」「押花」「洋画」「日本画」「スケッチ画」などが、展示されました。

会場は、休憩スペース前のホールにあり、会員ばかりでなく図書館利用者など数多くの方が、足を止めて鑑賞され、延べ355名の方々にご覧頂き誠にありがとうございました。

次回も会員の方々に、仕事以外の活動の発表の場として、多いに利用して頂きたいと思います。また、会員の中で、作品展示に至っていない方々は、ぜひ次回には、発表の場として利用して頂きたいと思います。

「展示作品提供者一覧(敬称略)」

- 【書】 青山 孝夫 (土浦支部) 「小倉百人一首より」額装3点
梶 ひろみ (久慈支部) 「面今(じこん)」額装1点
- 【写真】 柳下 文江 (県央支部) 「スペインの旅」額装3点
平沼 清美 (県央支部) 「ジャカラダの咲く教会」全紙
- 【陶芸】 酒井 順子 (土浦支部) 「取っ手付皿」
- 【工芸】 藤田 昭一 (桜川支部) 「水車」
五十君智子 (土浦支部) 「ビーズアクセサリ」
- 【押花】 高橋せつ子 (鹿島支部) 「山湖の春」「溪流」「森の中へ」「早春」
- 【洋画】 柳下 義男 (県央支部) 「海峡」(F50号)
市川三和子 (久慈支部) 「あじさい」(F6号) 「愛しのビー助」(F4号)
増澤 敬 (県庁支部) 「晴れの日」(F8号)
守田 義広 (県央支部) 「晩秋の旧茂木家住宅」(F4号)
大槻 薫 (県央支部) 「Metoro」(F30号)
大槻美菜実 (県央支部) 「Burger」(F30号)
青木 孝二 (筑波支部) 「ロンシャンの礼拝堂」(F6号)
渡辺 彰吾 (県央支部) 「赤い人」(F20号)
- 【日本画】 棚谷 和子 (高萩支部) 「夕暮れ」(F50号) 「親子」(F30号)
- 【スケッチ画】 浅野 利光 (県庁支部) 「初夏の富士」(F4号) 「小樽の冬」(F4号)



U-45 建築界異業種交流会

平成30年2月27日(火) 水戸市泉町仲通り商店街にて、茨城建築士会青年女性委員会主催による「U-45建築界異業種交流会」が開催されました。この事業は、建築界における若い技術者の垣根を超えた横断的な交流を目的とし、新たな出会いの場を作り、そこで知り合えた仲間とお互いに助け合い、刺激し合う環境を作っていく事を目指しました。当日は、クラウドファンディングによるまちづくりを行っている水戸市泉町の「仲通り商店街」を舞台に、仕掛け人によるトーク、視察等も合わせて実施されました。

当日は、30名定員に対して40名近い方の参加と、企画内容に賛同して頂いた賛助会員企業6社の協賛も頂き、熱気に満ちた交流会が開催されました。

今回のイベントの特筆すべき点は、会場を商店街としている点です。この場所に事務所を移転し、まちづくりを仕掛ける青年委員である日立支部加藤氏の取り組みを知りこの場所を使ったイベントの開催が企画されました。開催場所には一部空き店舗も活用し、交流会で用意したオードブルなどは商店街の各店舗にお願いし作って頂きました。空

家・空き店舗の利活用が求められる現代における一つの方法だと感じています。参加された方々も空き店舗や商店街を使ったイベントの開催に驚きと関心を寄せ、積極的な交流が生まれていました。

同日開催されていた建築士免許証明証交付式の参加者も数名参加し、同世代の交流を行う事ができ、建築士会の活動をPRできたと感じています。このような建築界における異業種の交流を通していく事で若い世代との接点生まれ仲間も増えて行くと考えています。



KROSTUDIO
KOTOBUKI RENDERING DESIGN STUDIO
茨城県建築士会・茨城県建築士事務所協会賛助会員

寿レンダリングス建築パーススタジオ
〒311-4141 茨城県水戸市赤塚1丁目385-31
TEL 029・246・6588
mail:kotobuki-r@nifty.ne.jp
http://kotobuki-r.com/
各種パース製作、お気軽にご相談ください。

2月のわくわくセミナー 「火災・地震保険の賢いかけ方」

2月20日(火)いつもの通り、土浦市三中地区公民館に於いて開催いたしました。

講師は、保険の総合コンサルタント 有限会社アイガードの川崎氏。我が家で長年お世話になっていて、更新のたびに色々とお話をお聞きしているの、講師にぴったりと思いをしました。そして川崎氏のご紹介で、損害保険ジャパン日本興亜株式会社の優秀な若手社員藤原氏と、さらに若く初々しい福地さんにも来ていただきました。

住まいの保険という事で、まずは火災保険と地震保険、水害保険・家財保険について、パンフレットを元に大まかな内容と支払いの有無について。引き続きさらに詳しく、実際にどのように調査して

支払いが行われるか・・・など丁寧に説明をしてくださいました。

建物構造による違い、築年数による違い、そして必要な書類、また最新の情報として、地震保険は掛け金が値上がりの傾向にあるという事などを教えていただき、たいへん勉強になりました。

参加者は19名、皆熱心に耳を傾け、質問も多く出て盛況だったと思います。

わくわくセミナーに初めて参加して下さった方もいて、セミナーの意義を感じました。

出席率100パーセントに近い私としては、今後ともより多くの方にお会いできることを楽しみにしております。よろしくお願いいたします。



MATSUMOTO-SOUKEN

株式会社 **松本総建**

代表取締役会 **松本 一幸**

— 特定建設業 —

茨城県知事許可(特-29)第21680号

関東中央支店 〒311-0106 茨城県那珂市杉410-2
TEL 029-295-7715(代)
FAX 029-295-6548

本 社 〒311-4152 茨城県水戸市河和田2-9-5
営 業 所 〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師3891-6
第一機材センター 〒311-4203 茨城県水戸市上国井町字南台3669-1
第二機材センター 〒311-0133 茨城県那珂市鴻巣白旗1195-1
第三機材センター 〒311-0106 茨城県那珂市杉407-1

《 営業内容 》

■ 枠組足場工事
■ 建築土工事
■ 足場提案企画

■ くさび式先行手摺足場
■ 土木工事

■ 鉄骨建方工事
■ 外構工事

ラブアークセミナー「水府提灯セミナー」

今回のラブアークセミナーは和文化研究をテーマに、株式会社鈴木茂兵衛商店様を講師にお迎えし、水戸の伝統文化である提灯づくりの技法を学びながら体験するというものでした。私は水戸に長く住んでいますが、水戸に伝統的な提灯の技法があるということは知りませんでした。私の持っている提灯のイメージは、お盆に飾る伝統的な形のものがなくヒヨコや人物の形などを目の当りにしてこんなにアーティストックに進化していることを知り驚きました。

実際に提灯を組み立てていくと、手間がかかる作業が多いと思いました。枠を組み立てひごを巻

き、ひごに糊を付け和紙を貼っていく作業です。各工程は繊細で、ひごの張り、糊の量など見極めるのが大変でした。最後に重化（上下の黒い輪）を付けて頂いて完成です。

提灯の定義は折りたたむことが出来るものだと思います。今回作った提灯も最後はきちんと折りたたむためコンパクトになり収納面も考えられた実用的なものと言うこともわかりました。細かい作業を繰り返して作った提灯だけに愛着が湧き、大切に使用したいと思います。また次回のセミナーを楽しみにしています。





株式会社 **市毛建築設計事務所**

代表取締役 **市毛 純一**

〒311-4152 水戸市河和田2丁目2190-7
TEL 029 (253) 1331 / FAX 029 (253) 3511
E-mail : j-ichige@sunshine.ne.jp



笠間市立笠間中学校武道場



撮影 アートフォトTANII

設計・工事監理



株式会社 **桜設計事務所**

代表取締役 **山田 博通**

〒310-0851

水戸市千波町1239 ☎029(241)8441

☎029(241)8579

E-mail:cnsakura@cocoa.ocn.ne.jp (代表)

糸魚川市駅北大火視察

桜川支部 武村 実

●火災状況

出火 平成28年12月22日(木) 10時20分頃
 鎮火 平成28年12月23日(金) 16時30分
 出火場所 糸魚川市大町1丁目2番7号ラーメン店
 出火原因 大型コンロの消し忘れ
 焼損棟数 147棟(全焼120棟、半焼5棟、部分焼22棟)
 消失面積 約40,000㎡(被災エリア)
 被災者の状況 145世帯 260人 56事業所
 負傷者 17人(一般2人、消防団員15人)死者0人

●当日の気象状況

気温 18.4°C
 湿度 54.7%
 最大瞬間風速 27.2m 南南東
 冬場としては珍しいフェーン現象による南からの強風
火災として初めて被災者生活再建支援法に適用された。(風害として)



復興まちづくり事業 検討位置図

糸魚川市過去の大火記録

発生年月日		全焼家屋
文化3年(1806)	5月2日	306棟
文化9年(1812)	11月8日	27棟
文化11年(1814)	8月16日	508棟
文化13年(1816)	2月17日	744棟
文政9年(1826)	6月20日	600棟
天保5年(1834)	4月20日	548棟
明治10年(1877)	11月6日	458棟
明治37年(1904)	8月3日	459棟
明治41年(1908)	8月10日	42棟
明治44年(1911)	4月22日	503棟
昭和3年(1928)	8月19日	105棟
昭和7年(1932)	12月21日	368棟
昭和29年(1954)	8月19日	42棟



▲火元となったラーメン店(プレファブが置かれている)(写真上)

▶火元となった近くの建物でいち早く復興を果たした建物、外壁が焦げた程度であったので、外壁を張り替え、大火の後、数カ月で復旧した。(写真右)



▲火元となった現場付近にて、今後の復興まちづくりについての説明を受ける。



▲市担当者より火災概要の説明を受ける(糸魚川駅前)



復興まちづくり事業として、にぎわい創出広場を建設し、敷地内に海水を利用し、大型防火水槽(200m)設置(平成30年度完成予定)



市担当者よりにぎわい創出広場の説明を受ける



▲加賀の井酒造の江戸時代に建てられた土蔵(大火を後世に伝える為保存)



▲以前の面影は無く再建され操業開始している、加賀の井酒造準防火地域であり、何度となく、大火に見舞われた糸魚川市条例に伴い建築された。酒蔵内部の様子を外から見学出来るようのぞき窓が設置された。「近代的な酒蔵に生まれ変わった」※復旧復興計画等詳細について次号に続く



▲慶安3年(1650年創業)

江戸時代百万石を誇る加賀藩の参勤交代の宿場町であった糸魚川加賀前田家三代目、前田利常公より銘酒「加賀の井」は命名されたと言われている。

営業品目

コンクリート二次製品全般

函渠型側溝フリードレーン
大型積ブロック
浮上防止型グレーチング

公園資材

防災用かまど
防災用ベンチ
防災用シェルター
インターロッキングブロック
遊具一式

下水道用製品

耐震性スーパー BOX カルバート
アーチカルバート
ヒューム管カーブ用推進管
マンホール鉄蓋

建築資材

PHC パイル
地盤改良材



汚染土の仮置場処理対策製品
土木建築資材の総合商社

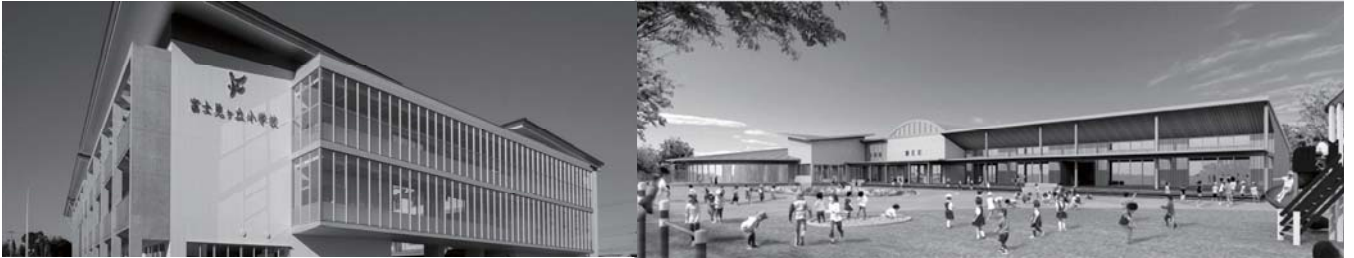
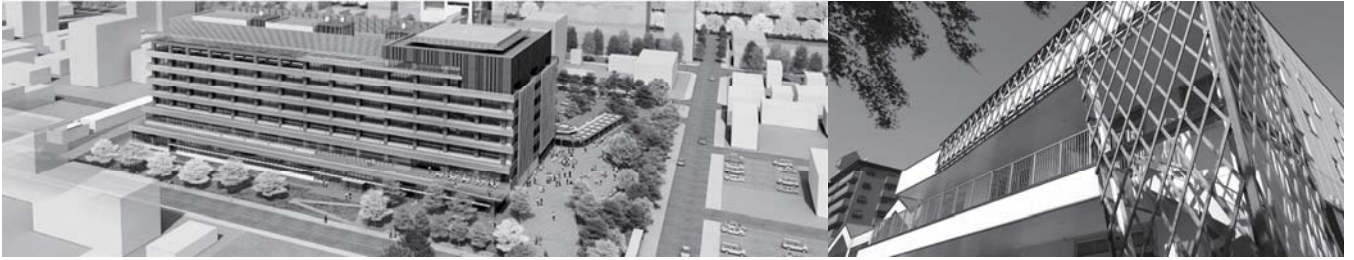
株式会社 **建友**

代表取締役 **根本 勇**
専務取締役 **根本 学**

本社 茨城県水戸市吉沢町 333-4 電話 (029) 247-8405 (代表) FAX (029) 248-0155
支店 茨城県鉾田市造谷 1529-99 電話 (0291) 37-1335 FAX (0291) 37-1335

E-mail:office@k-kenyu.co.jp

2016~2018



SHIBA
ARCHITECT
OFFICE

since 1967 50th

株式会社 柴建築設計事務所

水戸市泉町 3-1-28 第二中央ビル 7階
TEL 029 (227) 0222
FAX 029 (231) 0960

<http://www.shiba-arc.co.jp/>



一般社団法人
茨城県建築士会